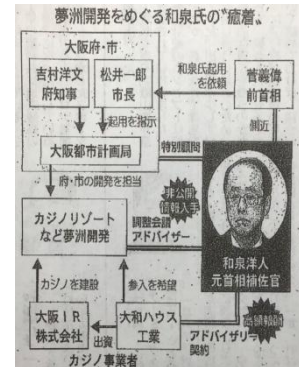


大阪市特別顧問の会社「IR 出資社と契約」

写真は「夢洲開発をめぐる和泉氏の“癒着”」（しんぶん赤旗日曜版 6 月 5 日）。和泉氏とは 1 月から大阪府・市の特別顧問に就いた元首相補佐官。和泉氏についてはジャーナストの森功氏が「権力をふるいカネをむしり取る…退陣した大物の『元官邸官僚』儲けの手口」と題して『週刊現代』4 月 2・9 日号に掲載している。

6 月 7 日にレポートしたが、その後の大阪市議会での質疑も含め、朝日 9 日朝刊大阪市内版に記事が掲載されているので紹介したい。



大阪市の特別顧問を務める和泉洋人氏の経営する会社が、市が誘致を進めるカジノを含む統合型リゾート（IR）に出資する企業と「アドバイザー契約」を結んでいたことが分かった。

和泉氏の会社「住宅・都市政策推進機構」とアドバイザー契約を結んだのは、大和ハウス工業（大阪市）。大和ハウス工業の担当者は朝日新聞の取材に「（和泉氏の会社と）契約は結んでいる。報酬などの内容については答えられない」と話した。

契約をめぐっては、共産党の機関紙のしんぶん赤旗日曜版（6 月 5 日号）が報じた。8 日の市議会都市経済委員会で、同党の井上浩議員が質問した。井上議員は同委で、和泉氏が原則非公開の「夢洲等まちづくり事業調整会議」に出席し、非公開資料の提供を受けていると指摘。「利益相反にあたらぬのか」と質問した。市側は「アドバイザー契約の事実については承知していない」と答弁した。

井上議員は続けて、同会議で IR 予定地の夢洲のインフラ施設整備なども議題になっていることから、「行政の公平性が侵される恐れがある。倫理上も問題はないのか」と質問。これに対し、高橋徹副市長は「特別顧問の就任にあたって、守秘義務を順守する承諾書をいただいている。今後も助言をいただきながら、まちづくりを進めたい」と答弁した。質疑の後、松井一郎市長は記者団に「生活のために民間の組織に所属するのは当然のこと。そこで利益相反にならないように守秘義務を定めているので、何の問題もない」と語った。

和泉氏は菅義偉前首相の側近として知られ、安倍、菅両政権で首相補佐官を務めた。昨年 11 月に会社を設立。今年 1 月に府と大阪市の特別顧問に就任した。

いろいろあるが、とりわけ松井市長の酷い発言に注目。生活のために民間の組織に所属するのは当然と、よく言うもんだ。わざわざ自分で儲けのための「会社」を設立して、そのあとに大阪 IR 会社に出資する大和ハウス工業とアドバイザー契約を結んだのだ。

（2022 年 6 月 14 日）